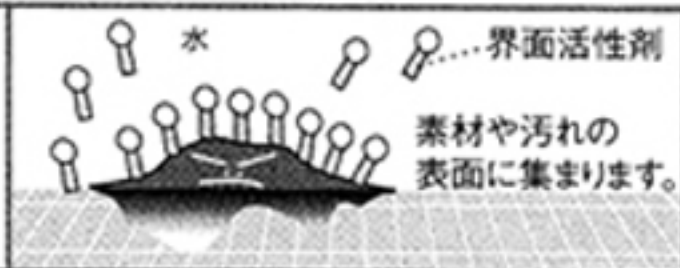


浸透作用

しみ込みやすくします

汚れを落とすためには、洗われる物が濡れ、洗剤液が汚れにしみ込んでいく必要があります。界面活性剤は、水が汚れや素材に浸透しやすくする働きを持っています。



乳化作用

水と油をなじませます

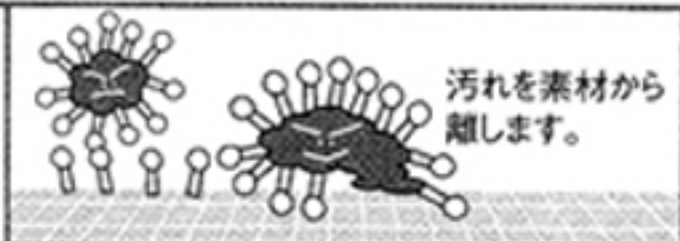
水と油はなじみませんが、界面活性剤を入れて攪拌すると、油は細かい粒になり、水の中に安定して存在します。小さな油の粒のまわりを、界面活性剤分子が取り囲み、水と親しみやすくするのです。



分散作用

汚れをほぐします

水には溶けないススなどの固体汚れを細かくほぐし、水の中に安定して分散させます。



再付着防止作用

再び汚れが付かないようにします

一度落ちた汚れを界面活性剤分子が取り囲み、再び素材につくことを防ぎます。

